

第1282回生物科学セミナー

日時：5月15日（水）16:50-18:35

場所：理学部 2号館 講堂

演者：岡西政典（生物科学専攻 附属臨海実験所）

演題：海産動物クモヒトデ類の魅力

クモヒトデ綱は、ウニやヒトデと同じ棘皮動物門に属する海産無脊椎動物である。細長い腕を器用に動かすことであらゆる海底環境に進出し、棘皮動物の中では最も成功したグループであるといわれている。しかしながら、本分類群は一般になじみの薄いいわゆる「マイナー分類群」であり、2100種ほどが知られるその多様性の創出機構については、未だ謎が多い。

本演題では、大学院の5年間で演者が取り組んだ深海性のツルクモヒトデ目（腕の分岐するいわゆるテヅルモヅル類を含むグループ）を中心とした系統・分類学的研究、並びに、現所属の三崎臨海実験所におけるクモヒトデ類の形態・発生・進化学的研究への取り組みなどを紹介したい。その中で、クモヒトデの研究対象としての有用性や分類学的研究の魅力、フィールドワークの様子なども交えつつお伝えしたいと思う。

参考文献

- (1) S. Stöhr, T.D. O'Hara, B. Thuy. 2012. Global Diversity of Brittle Stars (Echinodermata: Ophiuroidea). PLoS ONE 7(3), e31940. <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0031940>
- (2) M. Okanishi, M. T. Fujita. 2013. Molecular phylogeny based on increased number of species and genes revealed more robust family-level systematics of the order Euryalida (Echinodermata: Ophiuroidea). Mol. Phylogenet. Evol. 69 (3), 566–580.
- (3) M. Okanishi. 2016. Ophiuroidea (Echinodermata): Systematics and Japanese Fauna. In: M. Motokawa, H. Kajihara (eds.) Species Diversity of Animals in Japan. Springer Japan, Tokyo, Japan, pp. 657–678.
- (4) T.D. O'Hara, A.F. Hugall, B. Thuy, S. Stöhr, A. Martynov. 2017. Restructuring higher taxonomy using broad-scale phylogenomics: the living Ophiuroidea. Mol. Phylogenet. Evol. 107, 415–430. doi: 10.1016/j.ympev.2016.12.006

担当：東京大学大学院理学系研究科・生物科学専攻・植物生態学研究室